

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	日本語名	ポータブルディスクドライブ
CY - 01	English	Portable disc drive

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No.	大項目	小項目	要求事項
1	製品とラベルの概要	PCRの対象となる製品群	<p>オフィス及び一般家庭においてUSBポータブルディスクドライブを使用してデータを記録または再生する装置。</p> <p>日本標準商品分類に定める固定式磁気ディスク装置(521311)が器の中に内蔵されて、デジタル電子機器の周辺機器としてUSBに接続される補助記憶装置。</p>
2		ラベルの対象となる製品範囲	<p>最小販売単位に含まれる本体とインターフェースケーブル、外部電源、マニュアルおよび包装等一式。</p> <p>なお物流を含む中間梱包資材は評価範囲に含める。（集合箱等）</p>
3		製品ライフサイクルステージ	<p>1. 対象ライフサイクルステージ 素材製造、製品製造、物流、使用、廃棄・リサイクルの全ステージ</p> <p>2. システム境界 上記第2項（製品範囲）で規定した物品のみを対象とする。 USB 接続の場合、使用ステージでは同ドライブの消費電力のみを計上する。</p>
4		製品の仕様	<p>1. タイプ 外付け（バスパワー）</p> <p>2. 記憶容量</p> <p>3. 回転数</p> <p>4. 媒体枚数</p> <p>5. 対応インターフェース</p> <p>6. 質量（本体**kg、付属品**kg）・ 本体寸法</p>
5		LCAデータの公開内容	<p>1. 記載項目 必須項目として実施ガイドライン3.2項で規定されている、「温暖化負荷、酸性化負荷、エネルギー消費量」を記載することとし、選択項目の7項目（ガイドライン）は記載自由とする。</p> <p>2. 注記類 PEADシートのEセクション下部に次の文章を記載する。 「公開対象には本体、マニュアル類、付属品、包装材、集合箱（使用の場合）を含んでいます。」 「使用ステージ環境負荷は、一日に6hアイドルモードにしたとして算定しています。」</p> <p>3. 表現方法 PEADシートのEセクションでは各ステージの温暖化負荷（CO₂換算）を棒グラフで表現する。</p> <p>4. LCAデータの補足説明 様式1上には当該製品のLCAデータの理解を助ける補足説明文章を記載してよい。ただしLCAデータと関係なく製品の優秀さをアピールする文章であってはならない。</p>
6		その他エコデザイン関連情報（新旧製品比較）	特になし

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	日本語名	ポータブルディスクドライブ
CY - 01	English	Portable disc drive

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No.	大項目	小項目	要求事項
7		その他エコデザイン関連情報	<p>LCAに基づく情報ではないが、当該製品の環境特性に関わる情報として下記のことを記載できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> タイプⅠおよび/又はタイプⅢの環境ラベル ISO14001 認証の取得 国または工業会等の認証・認定・表彰 有害物質情報 鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・ポリ臭化ビフェニール（PBB）・ポリ臭化ジフェニールエーテル（PBDE）、他の有害物質の使用有無を記載する。なお対象部分が限定される場合はその旨明記する。 環境配慮型素材の情報 該当部を指定し、素材名を明記する。
8	各ライフサイクルステージの設定	製品の原料・部品構成	<ol style="list-style-type: none"> 材料分類名 製品データシートの「1. 製品情報」欄に記載する材料名は以下の通りとし、その他は「その他」としてまとめて記載する。 普通鋼、ステンレス鋼、アルミニウム、銅、その他金属、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、ゴム、ガラス、紙、木材、実装回路基板、電池（設計上含む場合のみ記載）、電磁鋼板 リサイクルの取り扱い 「オープンリサイクル/リユースを含む場合は次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。なお設定根拠の妥当性は検証の対象となる。 (1) 「間接影響」範囲とする工程 (2) 「間接影響」範囲内の控除・負荷
9		製品製造ステージのモデル化・データ区分等	<ol style="list-style-type: none"> 加工、組立負荷を自身で把握する部品 磁気ディスクユニット 以上の考え方は付図1に示した。 製造サイトに投入されて消費/排出される物質、エネルギーと工程間輸送負荷のうち標準として必ず計上するものは以下の通りとする。 <ol style="list-style-type: none"> 投入物質及び消費エネルギー 電力、A 重油、軽油、灯油、ガソリン、LNG（都市ガス）、LPG、都市用水、工業用水、地下水 排出物質 規定しないが各社で重要と判断したものを記載する。 製造工程間輸送負荷 原則として投入物質（原材料・エネルギー）の輸送負荷は計上しないが、 <ul style="list-style-type: none"> 副産物とは、製造工程においてその主な目的として製造される製品とは別に、副次的に発生して有価売却される生成物を指す。 副資材とは、製造サイトで投入され、また廃棄される資材で製品と共に出荷されないものを指す。

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準 (PCR)

PCR No.	日本語名	ポータブルディスクドライブ
CY - 01	English	Portable disc drive

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No.	大項目	小項目	要求事項
10		物流ステージにおけるモデル化・データ区分等	<p>完成品の標準輸送条件は以下の通りとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 国内輸送 距離は500kmとする。手段及び積載率は各社で設定する。 海外から国内への製品輸送 海外製造サイトから消費国(日本)への国内・国境間輸送手段、距離、及び積載率について各社でモデルを立てて計上する。
11		使用ステージにおけるモデル化・データ区分等	<ol style="list-style-type: none"> 製品の使用条件 <ol style="list-style-type: none"> 前提 ポータブルディスクドライブの電力モードには通常、始動、シーク、記録、再生、アイドル、スタンバイ、スリープの7モードがある。一定期間に処理するデータ量を一定とした場合にとするドライブの、全記録・再生時間は、使用時間に対し極端に短いので無視する。したがって一日あたりの総通電時間は下記B項で規定する「アイドルモード」とする。 <ul style="list-style-type: none"> 一日あたりの総通電時間を、「PCおよびPC専用ディスプレイ」PCR-BJの基準と同一とする。(PCR-BJ-01では4.5時間)(エナジースターの改正後には、総通電時間のモードがアイドルではなくなる見通し。これを受けて2009年秋に改正省エネ法告示の見通し。) 総使用期間 1年240日(週5日×4週間×12ヶ月)稼働で4年間とする。(ノート型パーソナルコンピュータPCRと整合させる) <div style="text-align: center;"> </div> <ol style="list-style-type: none"> 一日あたり消費電力の測定方法 規定の作業を行うのに要する消費電力量 (wh) を把握する 告示で定めている経済産業省告示第51号「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(年度)の状態での測定することとする。電源を入力し、直ちにデータの書き込み及び読み取りをすることが可能な状態で測定する。なお、初期プログラムの種類については特に指定しない。 電力モードはアイドルモードとする。電子回路や磁気ヘッドの位置決め回路(サーボ回路)を動作状態にする「パフォーマンス・アイドルモード」と、サーボ回路を停止し、他の不要な回路の電源も切断し、スピンドルモータは定常回転を続ける「ローパワー・アイドルモード」の2つのモードを有しているものもある。このいずれかで測定しても構わない。 <ol style="list-style-type: none"> 消耗品・交換部品 使用ステージでの消耗品、及び交換部品はなしとする。 メンテナンス 使用ステージでのメンテナンスは想定しない。

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	日本語名	ポータブルディスクドライブ
CY - 01	English	Portable disc drive

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No.	大項目	小項目	要求事項
12		廃棄・リサイクルステージにおけるモデル化・データ区分等	<p>[共通事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 紙類は可燃物として扱う。 ダンボールのリサイクル率のデータは、日本ダンボール工業会が整理・公表している値を業界標準値として採用する。 その他、使用後の廃棄・リサイクルシナリオについて付図2にしたがうこと。 <p>なお同公表値は年々更新されるため、本PCRではエコリーフ発行時点の最新版を採用するものとする。 (2001年度実績では97.1%)</p> <p>[外付け製品の場合（産業用、一般消費者向け両方を含む）]</p> <p>本体、付属品などを含め不燃物として一般廃棄物扱いとし、各社処理シナリオを作成する。</p> <p>回収製品のうち金属材料は80%をリサイクルするものとする。</p> <p>回収物流の負荷は4tトラック、積載率62%、500kmとする。</p>
13		カットオフルール	<p>組立負荷等についてはカットオフを適用しても良いが、その場合は以下について明確にする。（検証対象となる）</p> <ol style="list-style-type: none"> 適用の根拠 基準値
14		収集データの品質要件	<p>データ収集期間は1年を基本とする。</p> <p>新製品の場合などでまだ実績データが把握できない場合は、設計時又は計画時の条件を含むデータ（含む原単位）で代用してもよい。</p> <p>その場合には、1年以内に実測値を収集し、データが異なればデータ補正を行うこと。</p> <p>複数の生産サイトにまたがる場合には、生産量の60%以上をカバーするサイトでデータ収集を行う。</p>
15		収集データのアロケーション	<p>統一せず、各社で適宜決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 資源投入量 一部の部材の情報が把握できない場合の特例として、製品本体全質量の95%以上の材料を種類別に分類できる場合に残りを比例配分して100%換算しても良いものとする。 製造工程データ 各社で適宜決定する。なおそのルールの決定根拠は検証対象となる。

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	日本語名	ポータブルディスクドライブ
CY - 01	English	Portable disc drive

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No.	大項目	小項目	要求事項
16	インベントリ計算	LCI 計算の考え方	1 オープンリサイクル/リユースを含む場合は間接影響と直接影響に分離して計算し、このうち間接影響分を「リサイクル効果」として表現する。PEIDS では間接影響の合計を「リサイクル効果」欄に記載し、リサイクル効果の内訳を PEIDS の解説欄に記載する。
17		共通原単位の使用条件	共通して使用すると想定される部材と「エコリーフ共通原単位」の対象関係は以下の通りとする。 1. 各社が決めた購入部品の組立 > 「部品組立」 2. インターフェースボード>実装回路基板 3. シリコンゴム>SBR 4. I/F ケーブル>芯線：銅30%、被覆材：該当樹脂50%、冷延鋼板20%
18	LCIA	インパクトカテゴリおよび特性化係数の追加	「オゾン層破壊」と「富栄養化」の項目は含めない。

本PCRの制定・承認情報

判定した委員会名	評価レビューパネル 代表：山口 庸子 所属：共立女子短期大学		
レビュー実施日(制定/改訂)	2009/2/19	有効期間	2012/2/19～ 2015/2/18

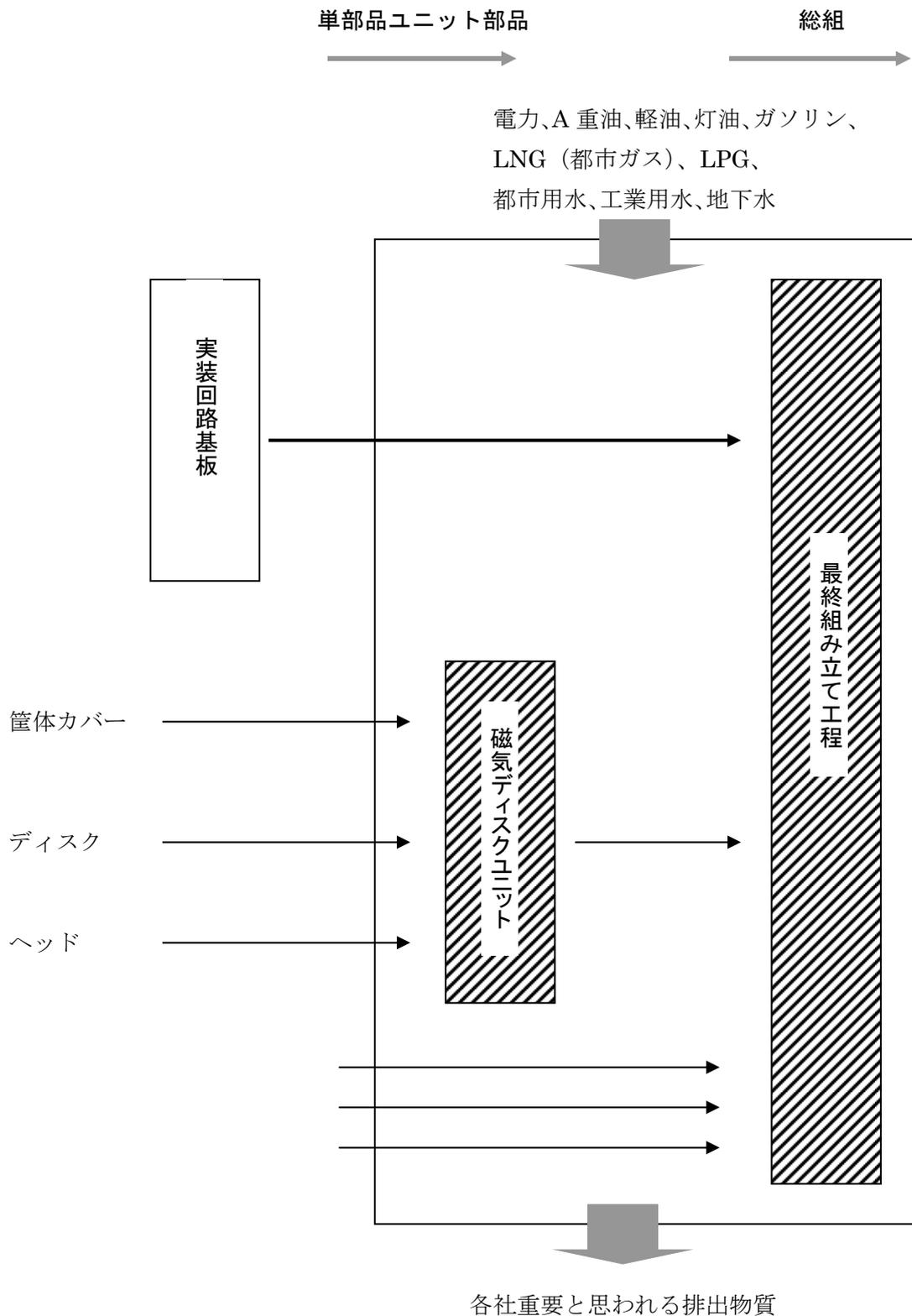
※現行のPCRを対象に、有効期間は、制定・更新または継続を目的とした改訂から丸3年とする。

本PCRの改訂等履歴

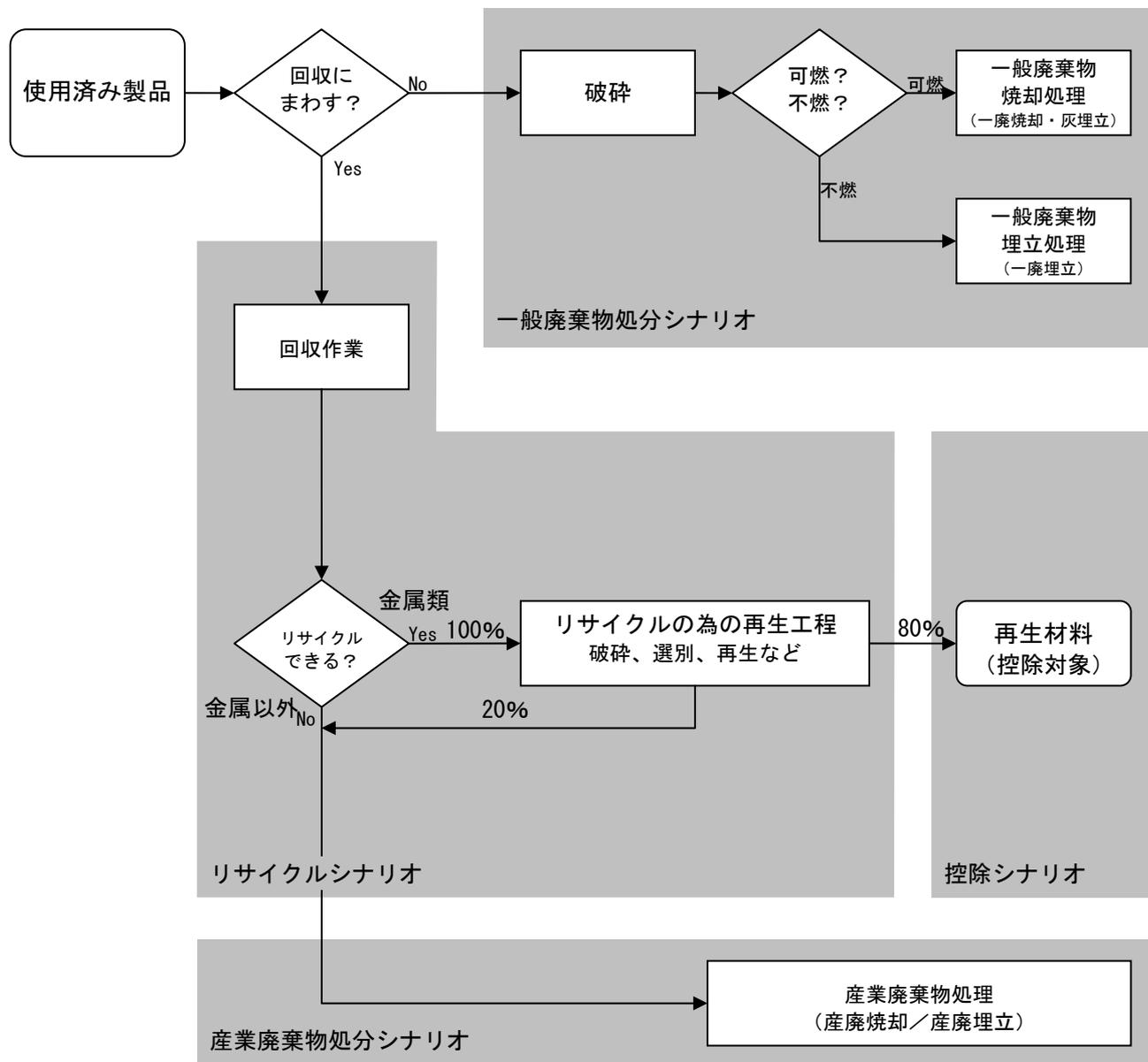
実施日	訂番等	実施内容
2009/2/19	01	制定
2012/2/19	-	更新

付図1 ポータブルディスクドライブ 素材・製造ステージ負荷の把握方法（項番8、16 関連）

下図の斜線部分を実測し、その他の部分は原単位を使用して算定する。



付図2 ポータブルディスクドライブ
 使用後製品の廃棄・リサイクルシナリオ (項番12関連)



注：輸送負荷については国内に回収品受入拠点があると想定し、4 tトラック輸送で500kmとして算出する。